

### Pick Up イベント 哲学ファシリテーター入門「NSDを経験する」

日時：2011年3月12日（土）・13（日）

場所：とよなか国際交流センター

進行：中川雅道

3月中旬、まる2日間かけて、NSDという対話法を実践するセミナーを行いました。セミナーの目的は、「哲学カフェでは満足できない」という人たちのための集中的な対話の場をつくることでした。そして、もうひとつの目的は、NSDを体験することでグループの動き方を理解することができるようになることにあります。それは、どうやったら進行することができるかという問いかけに示唆を与えるものになるでしょう。

NSDでは、まず全員で問いを作ります。「思いやりとは何か」。今回は「思いやり」についての問いが立てられました。そのまま問いへの抽象的な答えを作らず、実際に経験した「思いやり」の例を出し合い、そこから例をひとつ選んで模造紙に記述します。この日選ばれたのは、「知り合いの演奏会で悪いことを言わなかった」という例。うん、確かに「思いやり」の例だ。さて、いよいよ例を記述したら、そこから再び頭をフル稼働させながら、例の中に含まれる「思いやり」の要素を取り出していきます。すると、問いに対する答えが完成するというわけです。この間、グループの決定は全員の合意なしには成立しない、という厳しいルールのもと話し合いが繰り広げられます。

「相手にとってよかれと思う気持ち」。これが、セミナーを通して9名の哲学者たちが辿り着いた答えです。ずいぶん平凡だと思われるかもしれませんが、この文章に至るまでに多くの論点を辿ったことを、忘れてはいけません。「イタコのように相手に成り代わって共感する」か否か、「行為として現れなければ思いやりではないか」等等。答えは、それら論点が積み重なった重層的なものであることを考えれば、その到達点が如何に高いかが分かります。

参加者の方々から、「自分の考えや意見を吟味することは日頃ないので、大変良い経験でした」、「人に伝えることの難しさ、整理してから発言していない自分など、人の意見を聞くよりも自分のことを知る二日間でした」、「ファシリテーションに興味があるので、進行役が何を考えているのかを聞けて良かった」などの感想を頂きました。皆さん、満足されたようで、有り難い限りです。二日間、おつかれさまでした。

（報告：中川雅道）

#### ●NSDとは？

ネオ・ソクラティック・ダイアログ（通称 NSD）は、新カント派の哲学者、レオナルド・ネルズンに起源をもつ対話法。様々な人に改良を加えられ、今日欧州各国（主にイギリス・オランダ・ドイツ）で、学校教育・ビジネス・公共機関における対話セッションの道具として使われている。一つの哲学的問いについて、参加者の具体的な経験に基づいて、5～10人で長時間（1～7日間）議論する。進行役とともに質の高い共同的推論（collegial reasoning）を実現させる方法として評価を得ている。



進行役の中川雅道さん。



2日目の会場の様子。壁には、これまでの議論の内容を板書した模造紙がずらりと並ぶ。板書にもコツがあり、進行役は、全員が合意したことしか書かない。

●今回のセミナーは、東日本大震災直後に開催されました。震災の影響で、予約したにも関わらず当日参加できなかった方もいらっしゃいました。謹んでお見舞いと、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 2011 年度、カフェフィロは法人化にむけて動き始めます。

カフェフィロは発足から7年目を迎えました。

これまでカフェフィロでは、コアメンバーがボランティアで業務を分担するアソシエイト型の運営を行ってきました。しかし近年、哲学的対話に対する社会的ニーズはますます高まっています。そこでカフェフィロは、より積極的にこの社会的ニーズに応えてゆくため、事業拡大と法人化にむけて動きだすことにしました。法人化は2年計画ですすめ、2013年度に実現の予定です。

### 〈2011 年度 役員〉

代表：高橋綾

副代表（教育部門）：本間直樹

副代表（研究部門）：榎本直樹

マネジメント：松川絵里

事務：桑原英之

監査：西川勝

## 2011 年 2～4 月 活動一覧

- 2/2 哲学カフェ「言葉で傷つくということ」 アートエリアB1 中川雅道  
2/6 哲学カフェ「大人になるってどういうこと？」 せんだいメディアテーク 近田真美子  
2/13 シネマ哲学カフェ『インセプション』 喫茶ケルン 中川雅道  
2/15 哲学カフェ「学校って必要？」 神戸市北区子育て支援センター 松川絵里  
2/19 哲学カフェ「贈り物」 カフェサンナミジ 阿部和基  
2/23 対談「哲学と大学の未来」 アートエリアB1 鷲田清一、西山雄二、本間直樹  
2/27 セミナー「言葉のスケッチ」 アートエリアB1 光島貴之、井尻貴子  
3/6 シネマ哲学カフェ『369のメトシエラ』 シネ・ヌーヴォー+喫茶ケルン 中川雅道  
3/8 〈テツドク!〉第11回：今村仁司『交易する人間』 さする庵 小林壮路  
3/9 哲学セミナー「笑える悪口／悪口を笑う」 アートエリアB1 菊地健至、高橋綾  
3/12-13 セミナー「哲学ファシリテーター入門～NSDを体験する」 とよなか国際交流センター 中川雅道  
3/13 哲学カフェ「お金もうけて、なに？」 タローパン 菱田伊駒  
3/19 哲学カフェ「生活が充実しているとはどういうことか？」 とよなか国際交流センター 杉山知紀  
3/20 哲学カフェ「見守る、とは？」 コーヒーショップJUN 深田千晃  
3/25 哲学セミナー「声で聴く、ソクラテスの対話」 アートエリアB1 門脇俊輔、高橋綾  
4/13 哲学カフェ「気遣い」 アートエリアB1 森本誠一  
4/16 哲学カフェ「学校と教育を考えるカフェ」 Cafe Klein Blue 寺田俊郎  
4/16 哲学カフェ「話し言葉、書き言葉」 カフェサンナミジ 楠本瑠子  
4/17 書評カフェ：渡辺一夫評論選『狂気について』 カフェP/S 山村雅治、藤本啓子  
4/22 哲学セミナー「となりの認知症」 アートエリアB1 西川勝

### メルマガ 配信中！

カフェフィロでは、毎月、哲学カフェなどのイベント情報をお届けするメールマガジンを発行しています。配信をご希望の方は、カフェフィロのウェブサイト (<http://www.cafephilo.jp/>) の「メルマガ登録」よりご登録ください。

### 賛助会員 募集中！

カフェフィロでは、カフェフィロの活動に賛同し協力して下さる賛助会員（年会費3,000円）を募集しています。会員の方には、『哲学喫茶』最新号と、『哲学喫茶 瓦版』をお送りします。詳しくは、[info@cafephilo.jp](mailto:info@cafephilo.jp) まで。

### CAFÉ PHILO (カフェフィロ)

2005年、大阪大学・臨床哲学研究室のメンバーを中心に発足。哲学カフェ、哲学対話セミナー（子ども／大人対象）など、哲学の対話を促進する活動を展開中。  
「社会のなかで生きる哲学」のあり方を探り、それを実現するとともに、哲学とともに生きる人たちをサポートする組織です。

〒537-0023 大阪市東成区玉津3丁目8-6  
ロイヤル丸文Ⅱ406号室 たまてぼこ内  
e-mail: [info@cafephilo.jp](mailto:info@cafephilo.jp)  
<http://www.cafephilo.jp>  
哲学喫茶瓦版 2011年5月30日発行  
発行人：高橋綾 編集・デザイン：松川絵里

